

令和6年度 第2回 総合教育会議 会議録

開催日時	令和6年11月6日(水) 午前10時から午前11時20分				
開催場所	本庁舎 602・603会議室				
会議出席状況	市長	相馬 憲一	出席		
	教育長	篠山 充	出席		
	教育委員	小林 朋子	出席	川上 聖子	出席
		深澤 道昭	出席	渡邊 英憲	出席
		千本 博美	出席		
	事務局	教育部長	君島 敬	教育総務課長	羽石 剛
		学校教育課長	小室 和徳	生涯学習課長	岡 一弘
		学校教育課 主幹(管理主事)	平山 洋介	学校教育課 副主幹	植竹 勉
		教育総務課 (事務局)	遠山 多恵	教育総務課 (事務局)	藤田 有未子

次 第

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 開 会 | 午前10時 |
| 2 あいさつ | 市 長 |
| 3 議 題 | |
| ① 教職員の働き方改革について | |
| ② 小中学校生交流事業について | |
| 4 その他 | |
| 5 閉 会 | 午前11時20分 |
| 6 会議要旨 | 次のとおり |

令和6年度 第2回 大田原市総合教育会議 発言要旨

令和6年11月6日(水)

開会 (午前10時～)

- 教育総務課長 定刻になりましたので、ただいまから、令和6年度第2回大田原市総合教育会議を開会いたします。
本日の進行を務めさせていただきます、教育総務課長の羽石です。よろしくお願いいたします。
はじめに、本会議の主催者であります、相馬市長よりあいさつを申し上げます。
- 市長 (市長 あいさつ)
- 教育総務課長 それではこのあと次第3議題に入りますが、大田原市総合教育会議設置要綱 第4条に、総合教育会議は市長が議長となると規定されておりますので、これ以降の進行は相馬市長が務めることとなります。
相馬市長、よろしくお願いいたします。
- 市長 円滑な議事運営に努めますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
先ほどのあいさつでも申し上げましたように、本日は、2つの議題を取り上げさせていただきます。
それでは、はじめに1つ目の議題、教職員の働き方改革について、学校教育課の平山主幹と植竹副主幹からご説明申し上げますので、そのあと皆様からのご感想・ご意見をいただけますと幸いです。
ではよろしくお願いいたします。
- 教育総務課
平山主幹
植竹副主幹 (説明)
- 市長 学校教育課の説明が終わりました。
只今の説明につきまして、また皆様の学校訪問のご経験なども踏まえて、ご感想・ご意見・ご質問等がありますか。
- 川上委員 校務支援システムはいつから稼働になりますか。
- 植竹副主幹 令和7年3月から本稼働します。2月から仮稼働をし、先生方に試してもらう予定です。

- 川上委員 1人1台配付されますか。
- 植竹副主幹 はい。1人1台配付いたします。
- 川上委員 予算は確保されていますか。
- 植竹副主幹 はい。確保しています。
- 川上委員 従来は、障害福祉分野でも残業が習慣化し残業して当たり前という考え方がありました。10年前から改善・改革に努めたところ、最近では時間外業務の減少が見られ、また業務も効率よく凝縮できていると感じられます。10年経った今、意識改革がとても重要であると感じております。システムを入れると同時に、時間は有限であるという意識を持って進めていくことが必要だと思います。
- 市 長 意識改革がまさに重要である、というご意見がありました。ありがとうございます。
- 渡邊委員 校務支援システムの導入はいい事だと思います。
保護者へ向けたアナウンスと学校業務の線引きをしっかりと行う必要があると思います。
学校で起きる問題を学校がすべて抱えるのではなく、保護者がまず市教委へ相談する等の流れを作ってみてはいかがでしょうか。
部活動も含めて、学校の負荷が過重にならないよう、教育委員会へつなげるシステムを作ってもいいのではと思います。
- 市 長 保護者からの電話に対し、学校はどのように対応していますか。
- 平山主幹 保護者からの電話に対応する時間帯については、各学校の裁量に応じて保護者宛て通知しています。各種相談窓口はホームページに掲載されておりますが、宇都宮市の働き方改革への理解促進通知の例なども参考に、今後対応を考えていきたいと思っております。
- 市 長 行政にはホームページで発信をしメールで受け取る等の方法もありますので、各種の方法で対応いただければと思います。
- 小林委員 保護者連絡サービスの詳細について伺いたい。
- 植竹副主幹 主に、出欠報告をしたり、学校からの連絡をクラス等のグループに配信したりするサービスです。
- 市 長 成績管理については、どのようになりますか。

- 植竹副主幹 成績管理については、保護者連絡サービスとは異なり、校務支援システムへ入力し一元管理します。これで、学校全体の児童・生徒を把握することができます。
- 小林委員 その管理システムに入力されたものを、保護者は見ることが出来ますか。
- 植竹副主幹 一元管理されたものから、児童ごとに切り取って保護者への情報提供に活用したいと考えているところです。
- 市長 面談の時など、公務システムを活用して保護者に情報提供等をしてはどうか、とのご意見をいただきました。
- 小林委員 教師の業務軽減と子どもたちにとっていい教育環境の確保のバランスは難しいと思いますが、両取組とも推進していただきたいと思えます。
- 深澤委員 先生の働き方を変えていくのは大変だと思いますが、システムを上手に活用することで大きな成果が出せると思います。
また、資料の4ページの「【C】学校組織・指導体制の改革」にあります、市会計年度職員の配置及び加配教員の増員については、どのような状況ですか。
- 平山主幹 市会計年度職員については、予算に限りがありますので十分な対応は難しいところですが、協議しながら進めたいと考えております。加配教員については、国・県に対し常に要望しておりますがやはり厳しい状況です。
- 川上委員 障害福祉分野でも感じているところですが、国へ提出する書類等の作成が年々増加し大変です。学校も、子どもと関わるよりも書類作成に多くの時間を取られるのではないかと思います。
- 市長 校務支援システムの導入は、書類等作成の時間削減に有効ですか。
- 植竹副主幹 有効に利用できる場所はあると思います。
- 千本委員 先日、親園中学校区の学校運営協議会に出席しました。小さい学校が多く、先生が足りていない状況について話を伺ってきたところです。
- 市長 学校行事の企画運営も、学校によってそれぞれだと思います。校務支援システムで対応しきれないものもあり、それぞれ状況に合った解決策を検討することが重要と感じます。

それでは、2つ目の議題、小中学生交流事業について いうつります。生涯学習課の岡課長からご説明申し上げます。

○岡生涯学習課長 (説明)

○市 長 それでは説明が終わりましたので、ご質問やご意見等ありましたらお願いいたします。

○深澤委員 先日、湯津上小学校と湯津上中学校の合同文化祭に参加しました。アメリカへ行ってきた生徒が、生き生きと自分の意見を発表しており、交流事業の成果が上がっていると思います。今後も続けていただきたいと感じます。

○川上委員 金田北中学校の文化祭へ行ってきました。こちらでもアメリカへ行った生徒が発表しており、自分の目的を持ってアメリカへ行くことができた、とのことでした。本事業は、異文化とふれあうものとしてとても素晴らしい機会だと思います。
小学生の交流事業について、井原市から大田原市へ来るのはいつですか。

○岡生涯学習課長 令和7年度の予定です。

○市 長 ほかに質問や意見はないようですので、以上で議題を終わります。

皆様のご協力のおかげで、滞りなく議事を進行できました。
今後も市政に対し変わらぬご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。
誠にありがとうございました。
では、進行を事務局にお返しします。

○教育総務課長 委員の皆様の貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。
次に、次第4その他に移りますが、皆様から何かございますか。
それでは以上をもちまして、第2回総合教育会議を閉会いたします。

閉会 (午前11時20分)